

新・みやぎ財政運営戦略の取組成果について

財政運営戦略

- 宮城県では、平成30年度から令和2年度の3年間を計画期間とする「新・みやぎ財政運営戦略」を策定し、「健全で持続可能な財政運営の実現」と「復興の総仕上げと復興後を見据えた課題解決のための予算重点配分の実現」を目標に定め、歳入確保と歳出抑制対策を進めています。
- また「実質公債費比率、将来負担比率の安定推移」と「プライマリー・バランスの黒字安定推移」を達成指標に掲げています。
- 令和元年度の取組成果と達成指標の状況については、以下のとおりです。

(単位:億円)

取組成果 (R1)	取組の内容		財政運営戦略策定時のR1取組見込み額		R1決算における取組効果額	
	安定した歳入基盤の確立	2	広告掲載収入等の一層の充実:2億円	3	広告掲載収入等の一層の充実・ふるさと納税のさらなる活用:3億円	
	県有資産の活用	2	特別会計等の資金活用:2億円	6	未利用地等の売却・貸付:2億円 特別会計等の資金活用:4億円	
	特例的な県債の活用	58	退職手当債・行政改革推進債:48億円 資金手当債:10億円	16	退職手当債・行政改革推進債:将来負担軽減のため発行取止 資金手当債:16億円	
	事務・事業の無駄の排除と徹底した効率化	27	人件費総額の抑制:7億円 予算削減率設定等の継続:20億円	40	人件費総額の抑制:7億円 予算削減率設定等の継続:33億円	
	合計	89		65		

達成指標の状況	実質公債費比率 財政規模に対する公債費等の倍率		将来負担比率 財政規模に対する将来負担額の倍率		プライマリー・バランス 公債費－県債	
	H28	14.9%	H28	169.9%	H28	439億円
	H29	14.5%	H29	171.7%	H29	326億円
	H30	13.6%	H30	164.6%	H30	361億円
	R1	12.9%	R1	161.9%	R1	296億円

※将来負担額＝将来にわたり県が負担する地方債等の償還額等

※臨時財政対策債を除く元金ベース。形式収支の影響を除くため、「公債費－県債」により算出

- 歳入確保・歳出抑制対策については、策定時の効果額を上回る効果をあげることができました。(特例的な県債の活用を除く)
- 達成指標についても、安定して推移しています。